

『栄養学部では、優秀な病院管理栄養士を育てたい と思って講義をしています。』

3月の前半は電車通勤をしました。2月末から愛車の修理で、2週間以上かかりました。10年間乗って、走行距離が20万キロを超えているので大修理。その間は電車通勤。大学までは1時間半、東宝塚さとう病院へも1時間半、東宝塚さとう病院から大学までも1時間半かかります。木曜日と金曜日は通勤に4時間半。電車通勤も興味深い、いろいろな発見がありました。ほとんどの人がスマホに集中していて、驚きでした。

3月は大相撲の大阪場所。西宮市の甕岩神社は二子山部屋の宿所。3月2日と3日、大学が試験のために立ち入り禁止だったので、稽古を見に行きました。親方は、元大関雅山。猫好きで有名。伝統に基づいた稽古の様子は、なかなかのものでした。がつん、がつん、どすん、どすんとぶち当たる、土俵の外に飛ばされて怪我をすることがないように、守る、その雰囲気もいい。土俵を大事にする伝統も。大阪場所は、青森県出身の尊富士が110年ぶりの新入幕初優勝。日本人力士に勢いがあるので非常にうれしい。大銀杏を結えない、髷を結えない若手ががんばっていると、面白い。しかし、大関がダメです。憎たらしいほど強かった北の湖がなつかしい。

3月15日は千里金蘭大学の卒業式。正式には学位授与式。女子大の卒業式は初めて。学生さん達は着飾って、華やか！百花繚乱！3年生の時に臨床医学を教えたので知っている卒業生は少なかったのですが。私は、卒業式が終わり次第、奈良へ行くことにしていたので会場近くに車を停めていました。しかし「学位授与式」の立て看板の前で卒業生達が行列を作って思い思いに写真撮影、終わらない。車を出せない。学生さん達にとっては一世一代のイベント。邪魔しないように、待ちました。

第15回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会は、奈良市「春日野国際フォーラム」で開催。会長は南和広域医療企業団五條病院の森安博人院長。参加者は約140名、非常にいい雰囲気、議論ができました。岡田正メモリアルレクチャー(ニプロ共催)は佐賀好生館の山内先生。小児外科医としての気概を感じる、非常に素晴らしい講演でした。一般演題も、1題20分の時間を取ったので、質疑応答が活発で、有意義な議論が交わされました。2日目のランチョンセミナー(森永乳業クリニコ共催)は福井県立病院の栗山先生:あらためて経腸栄養剤の本質を理解する、という感じの講演。座長の私もクリニコの「ネクサス ST」を推奨しました。そりゃあ、リーダーズをサポートしてくれる企業には肩入れするべきでしょう。懇親会も開催。飲み放題のケータリングで、一人5000円なのに(懇親会費は3000円)料理が少ない!本当に少ない!(私はホテルに戻ってからおにぎりとおカップラーメンを食べました)。だから?時間があつたので、みなさんに話をしてもらいました。非常に楽しい時間でした。千里金蘭大学栄養学部の鎌田先生が参加してくださいました。非常にうれしかっ



↑千里金蘭大学の卒業式、学位授与式。着飾った卒業生の晴れ姿です。4年間の勉強、ご苦労様、卒業おめでとう。



↑学位授与式が終わってからの会場前。着飾った学生さん、ご家族、写真撮影が長々と続きました。確かに、一生に一度ですからね。大切な写真を撮られたことでしょう。私は、この写真が撮られた場所の近くに車を駐車していました。だから、出るに出られなかったのです。



↑オープンキャンパスのガイダンス。栄養学部の学生による「ウェルカム」の挨拶から始まりました。9階の大会議室。ご存じの方もおられますが、景色が抜群です。最初はカーテンを開けて、挨拶が始まると同時にカーテンオープン。「景色がすばらしいです」とのメッセージから大学の説明が始まりました。確かにすばらしい。いい演出でした。千里金蘭大学のオープンキャンパスは「おもてなし!」です。ランチ付でした。もっとたくさんの生徒さんに来てほしい!

時間	内容	会場
10:00~11:30	卒業式	大会議室
11:30~12:00	学位授与式	大会議室
12:00~12:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
12:30~13:00	ランチ	大会議室
13:00~13:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
13:30~14:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
14:00~14:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
14:30~15:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
15:00~15:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
15:30~16:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
16:00~16:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
16:30~17:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
17:00~17:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
17:30~18:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
18:00~18:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
18:30~19:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
19:00~19:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
19:30~20:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
20:00~20:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
20:30~21:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
21:00~21:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
21:30~22:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
22:00~22:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
22:30~23:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
23:00~23:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
23:30~24:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
24:00~24:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
24:30~25:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
25:00~25:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
25:30~26:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
26:00~26:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
26:30~27:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
27:00~27:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
27:30~28:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
28:00~28:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
28:30~29:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
29:00~29:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
29:30~30:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
30:00~30:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
30:30~31:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
31:00~31:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
31:30~32:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
32:00~32:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
32:30~33:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
33:00~33:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
33:30~34:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
34:00~34:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
34:30~35:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
35:00~35:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
35:30~36:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
36:00~36:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
36:30~37:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
37:00~37:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
37:30~38:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
38:00~38:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
38:30~39:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
39:00~39:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
39:30~40:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
40:00~40:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
40:30~41:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
41:00~41:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
41:30~42:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
42:00~42:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
42:30~43:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
43:00~43:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
43:30~44:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
44:00~44:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
44:30~45:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
45:00~45:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
45:30~46:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
46:00~46:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
46:30~47:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
47:00~47:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
47:30~48:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
48:00~48:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
48:30~49:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
49:00~49:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
49:30~50:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
50:00~50:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
50:30~51:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
51:00~51:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
51:30~52:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
52:00~52:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
52:30~53:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
53:00~53:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
53:30~54:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
54:00~54:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
54:30~55:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
55:00~55:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
55:30~56:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
56:00~56:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
56:30~57:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
57:00~57:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
57:30~58:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
58:00~58:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
58:30~59:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
59:00~59:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
59:30~60:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
60:00~60:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
60:30~61:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
61:00~61:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
61:30~62:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
62:00~62:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
62:30~63:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
63:00~63:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
63:30~64:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
64:00~64:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
64:30~65:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
65:00~65:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
65:30~66:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
66:00~66:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
66:30~67:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
67:00~67:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
67:30~68:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
68:00~68:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
68:30~69:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
69:00~69:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
69:30~70:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
70:00~70:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
70:30~71:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
71:00~71:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
71:30~72:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
72:00~72:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
72:30~73:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
73:00~73:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
73:30~74:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
74:00~74:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
74:30~75:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
75:00~75:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
75:30~76:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
76:00~76:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
76:30~77:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
77:00~77:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
77:30~78:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
78:00~78:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
78:30~79:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
79:00~79:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
79:30~80:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
80:00~80:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
80:30~81:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
81:00~81:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
81:30~82:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
82:00~82:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
82:30~83:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
83:00~83:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
83:30~84:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
84:00~84:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
84:30~85:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
85:00~85:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
85:30~86:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
86:00~86:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
86:30~87:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
87:00~87:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
87:30~88:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
88:00~88:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
88:30~89:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
89:00~89:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
89:30~90:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
90:00~90:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
90:30~91:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
91:00~91:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
91:30~92:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
92:00~92:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
92:30~93:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
93:00~93:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
93:30~94:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
94:00~94:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
94:30~95:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
95:00~95:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
95:30~96:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
96:00~96:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
96:30~97:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
97:00~97:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
97:30~98:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
98:00~98:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
98:30~99:00	卒業生と在校生の交流	大会議室
99:00~99:30	卒業生と在校生の交流	大会議室
99:30~100:00	卒業生と在校生の交流	大会議室

た！千里金蘭大学自体にも、こういう活動に興味を持って欲しい。大学がやるべき学術活動として大事な行事のはずです。

せっかくの奈良だから観光もしたい。非常にいい天気。東大寺大仏殿は会場から歩いて行ける距離。外国人が多い！もちろん鹿も多い！中国人が非常に多く、我物顔、態度がでかい。修学旅行生もいて、説明をする係の人に引率されていたので、付いて歩いて、いろいろ教えてもらいました。変なおじさんが「どこから来たの？」と聞くと「新潟です」と答えてくれました。大仏さんはさすがに大きい。大仏さんの鼻の孔の大きさだという、柱の穴を学生さんが通っていましたが、私には無理。体型的にも無理ですが、怖い！私、高所恐怖症だけでなく、閉所恐怖症ですから。

3月24日は、今年度最後のオープンキャンパス。

私は当番ではないのですが、いつものように参加。いろいろ学生さんや先生達と話ができて、そういう意味でいい機会でした。阿形先生や石川先生、伊藤先生達ともゆっくり話ができてよかった。しかし、身内で盛り上がるのは、オープンキャンパスとしては良くないらしい。来てくださっている生徒さんにご父兄に対して「おもてなし」をしなければ！栄養学部としては、しっかりと「おもてなし」をしているなあとは思いました。教育学部の展示コーナーは、いろいろな楽器なども置いていて興味深いものでした。栄養学部は、参加している教官、学生の数も多くて、非常に力が入っていることがよくわかりました。栄養学部が一番、熱心にオープンキャンパスに向き合っているのではないかなあ。産経新聞に掲載された記事もパンフレットに入っていました。学生さんの勧誘にはほとんど効果がなかったのじゃないかなあ。でも、アドミッションの方々が非常に力を入れているのがよくわかりました。みんなで協力して、優秀な学生さんに千里金蘭大学の魅力を伝えましょう、千里金蘭大学に来てください、と呼びかけていました。



↑ 第15回リーダーズ学術集会。奈良春日野国際フォーラムで開催。写真は会長の南和広域医療企業団五條病院の森安博人院長。有意義な学術集会にさせていただきました。ありがとうございました。



↑ 大阪場所、二子山部屋の宿舎の鰐岩神社。初めて相撲の現場を見ました。なかなか興味深いものがありました。大阪場所の優勝は新入幕で初優勝の尊富士。NHKのスポーツニュースの画面を写真撮影。上部僧帽筋による肩の盛り上がりがすごい。強いお相撲さんの証拠ですね。



↑ 電車通勤で、東宝塚さとう病院の最寄り駅：中山観音駅に早く着きすぎたので、近くの中山観音の梅林へ行きました。かなり有名だと、吉川先生に教えてもらいました。あまり感動しなかったのですが、もっと上の方へ行くと「すごい」らしい。でも、早朝なので入れませんでした。



↑ 3月なのに、春分の日翌日の3月21日、近畿にも雪が降りました、ちょっと積もりました。宝塚は1cm?の積雪でした。3月30日は25℃を超えました。どうなっているの？

ゼン先生：早いものですね、令和5年度が終わり、令和6年度が始まります。私もこの大学での勤務が2年目になります。

小越先生：どうだ、少しは慣れたか？

ゼン先生：慣れたのは、守衛のおじさん達と食堂ですかねえ。

小越先生：栄養学部の先生達とはどうなんだ？

ゼン先生：慣れたとは言えないような感じです。あまりコミュニケーションをとる機会がありませんので。

小越先生：そうか。食堂で一緒に昼飯を食べたりしたら、いろいろ話をする機会もあるんじゃないか？

ゼン先生：そうだと思います。金蘭千里中学・高校の食堂のスタッフの方達とは仲良くなりまして、4月になったら、中高の食堂へ行くか、大学の食堂へ行くか、悩みます。

小越先生：すっかり食堂には慣れたんだな。

ゼン先生：そうですね。でも、食堂で会うのは理事長だけ。1月2月3月は理事長と中高の食堂で一緒に昼飯を食べました。

小越先生：へええ、中学生、高校生が食べている食堂で、生徒たちと一緒に昼飯を食べたのか。

ゼン先生：生徒たちと一緒に、ではないですが、ちょろっと話をしたこともあります。変なおじさんですから。

小越先生：それは間違いない。

ゼン先生：理事長は屋久島の出身。私は愛媛の陸の孤島の出身。第一外科の先輩で剣道部の先輩なので頭が上がらないのですが、地方出身者同士、いろいろ話をしながらカレー、ラーメン、丼物などを食べています。

小越先生：それでいいんじゃないか。ところで、君が講義をしている栄養学部や看護学部の学生はどうなんだ？

ゼン先生：学生ですか？ほとんど話はしていませんが、後期の「授業アンケート集計結果」が出ました。

小越先生：どうだった？評価は高かったのか？

ゼン先生：残念ながら、後期も平均以下でした。

小越先生：そうか。頑張っていたのに、後期も平均以下か。前期も平均以下だったな。

ゼン先生：そうです。仕方ないですね。

小越先生：しかし、君が講演で行った所の写真を見せたり、動画を使ったり、いろいろ工夫しているんだろう？

ゼン先生：一応、私なりに。北海道の写真や海外の写真などを見せて、興味を引くように心がけています。

小越先生：それでも平均以下の評価なのか？

ゼン先生：はい。写真を見せても見ない学生も多いし、動画だって見ない学生が多いので、私の工夫は受け入れられていないのでしょう。

小越先生：そうか。残念だな。他の先生達の平均よりも評価が低いんだろう？

ゼン先生：かなり低いですね。

小越先生：他の先生達に、どういう講義をしているのか、どうしたらいいのか、教えてもらえよ。



↑奈良、東大寺の入口、南大門です。いい天気だったので、観光客が多かった。鹿も多かった。



↑東大寺大仏殿。本当に大きな建物です。ここに大仏が座っておられるのですからね。天気が良くて、春が来た、と感じながら観光させていただきました。



↑奈良東大寺の大仏さんです。唐舎那仏です。3年ほど前にも来ました。同じ角度で写真を撮りました。今回は修学旅行生について回ったので、ちょっと知識が増えました。



↑岡田正メモリアルレクチャーの山内先生です。気合の入った、いい講演でした。内容は小児外科医ならではの、小児外科医にしかできない医療・栄養管理についてでした。長期間の栄養管理の歴史、こういう話を聞くと、本当の栄養管理の重要性がわかるのですけどね。次のプログラムは西口先生、森安先生が座長の胃瘻に関するパネルディスカッション。笑い声が聞こえるのに、真剣に、熱く議論する、リーダーズの神髄です。胃瘻について世の中の人達に啓発しなければ！

ゼン先生：そうですね。いやあ、他の先生達は、教師として教えています。辛抱強く。私は、やっぱり、違うんです。教師にはなれません。教師としての考え方に基づいた教え方はできません。臨床の現場で働いている医療スタッフに対しての講演しかしていません。私の講演を聴きたい方にしか話していないので、状況が全然違うと思います。

小越先生：とにかく、他の先生達に、現在の学生に対する教え方を教えてもらうべきじゃないか？

ゼン先生：教え方を教えてもらうのですか？そうですね。とにかく、心構えを教えてもらいましょうかねえ。

小越先生：それがいい。教師とはなんぞや、から教えてもらうべきだ。君はその点では全くの素人だから。

ゼン先生：そうですね。教師としてはずぶの素人ですよ。

小越先生：そう自覚するべきだよ。それから、アンケートだから、いろいろコメントもあつたんじゃないか？

ゼン先生：ありました。

小越先生：いいコメントもあつたんじゃないか？

ゼン先生：看護学部の栄養学の講義では、森永乳業クリニコの経腸栄養剤の試飲会がよかった、ニプロの静脈栄養や経腸栄養の器具の説明会がよかった、という評価はありましたけど、それは私の講義そのものじゃないですから。

小越先生：なるほど。栄養学部でのコメントはどうなんだ？

ゼン先生：オープンキャンパスの時の昼飯で、栄養学部の石川先生に、学生のコメントは、読んだら裏返しにして1週間は放置しなさい。授業改善計画は1週間経って、気持ちが落ち着いてから書かないといけませんよ、と教えられました。

小越先生：授業改善計画？

ゼン先生：はい。あなたの授業の評価は平均以下です。このままではダメです。反省してください。今後、どう改善するつもりですか、その改善策を提出しなさい、なんです。これを書いて提出しないとイケないんです。

小越先生：へええ。それは大変だな。

ゼン先生：そうなんです。

小越先生：コメントにも、君が改善しなければならない、そういうコメントがあつたんだ。

ゼン先生：ありました。言いたくないんですが。

小越先生：ダメだよ。オレは聞きたい。

ゼン先生：そうですか。上から目線の講義はしんどい。

小越先生：なるほど。上から目線の講義と来たか。

ゼン先生：はい。下から目線の講義って、どうなんですか？私は教える立場なんですが。この内容を理解してくださいね、と言わないといけませんか？お願いするんですか？

小越先生：ははは、そうなんじゃないか？上のほうから勉強し

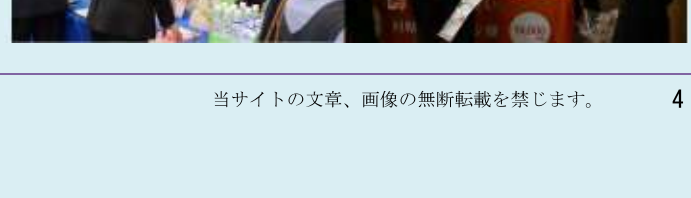
企業プレゼンは3社。アボットジャパン、大塚製薬工場、ニプロ、ありがとうございます。ビー・ブラウンが展示に加わってくれました。ありがとうございます。大塚製薬工場のOS-1は全部、参加者がもらいました。私が座席を回ってOS-1を配りました。⇒



↑ パネルディスカッションの発表者です。みなさん、明るい。笑顔で発表し、笑顔で議論。しかし、中身は重い内容でした。



↑ 質問も厳しい。マイクの前に並んで、自分の順番が来るのを待つ。質問ありませんか？ありません？それじゃあ座長から質問します、では盛り上がりません。座長だから、座長としていろいろ質問したり意見を言ったりしてもいいのです。司会ではありませんから。



なさい、ではなくて、勉強してください、一緒に勉強しましょう、という雰囲気じゃべらないといけないんじゃないか？

ゼン先生：そんな教え方、私には無理です。なんで学生に対して下手に出ないといけないんですか。ばかばかしい。

小越先生：確かに、君には無理だ。改善はできない。という事は、もう講義をやめるしかないな。

ゼン先生：そうなんです。それから、あるコメントに、少々、私は傷ついているのですが。

小越先生：傷つく？学生のコメントで傷つく？ばかばかしい。どんな内容なんだ？

ゼン先生：ゴミ授業、先生変えて欲しい、時間の無駄、意味がわからん動画見せられる、何の意味がある？

小越先生：それはひどいな。そこまで書くかなあ。

ゼン先生：でしょう。傷つくでしょう？

小越先生：確かに、傷つく。要するに、君は千里金蘭大学の学生には受け入れられていないということだ。講義の内容も平均以下だし、そんな、傷つくようなコメントをされたりしているんだから。

ゼン先生：そうですね。もう、今年度で終わってもいいかも、と思っています。

小越先生：そうだな。それがいい、それがいい。あと1年でやめなさい。

ゼン先生：先生もそう思われますか？

小越先生：そう思う。しかし、あと1年はがんばってみなさい。それから、その後のことは考えたらいいんじゃないか？1年後に決めたらいいよ。

ゼン先生：そうですか？今、気合が入らないのですが。

小越先生：しかし、学生達に君の講義が受け入れられないからといって、そのままでは残念だろう。

ゼン先生：確かに、そうですが。

小越先生：オレが思うに、君が教えようとしている臨床栄養学って、栄養学部の学生は興味がないんじゃないか？君の講義は、病院で働く管理栄養士にとっては非常に意味がある内容だと思うが、そんな気がない学生は、静脈栄養や経腸栄養なんて、知らなくていい、知りたくもない、と思っているんじゃないか？

ゼン先生：実は、それは私も同感なんです。知りたくないと思っている学生に、知らなくてはいけない、という感じで教えていることになるのでしょう。

小越先生：しかも、学生が興味があるのは食事だけだろう？食べることが好きだから、という理由で栄養学部に入学してきているんだろう？

ゼン先生：そうですね。食べられない人もいるんだ、これからは、そういう人の栄養も管理栄養士は考えなくてはならないんだ、と言うから上から目線と言われるのでしょ



↑ 中井賞の野呂先生、論文賞の衣笠先生、池西先生です。すみません、楯だけで。副賞をたくさん出せたらいいのですが。



↑ リーダーズでは発表の後の拍手はしないことにしています。でも、今回は、質疑応答が終わった後に拍手があり、拍手はいらない、と言おうかとも思ったのですが、自然に出てきた拍手だからいいか。でも、発表会ではないので、発表後の拍手はいらない、議論をしっかりと、その後に自然に拍手が出るのはいい、そう思います。発表後の拍手を推奨します、なんて言っている医師の学会もありますが、私は、それはちょっと違うと思っています。医師の学会は、やはり、積極的な議論をすべきです。発表会ではありません。

う。それは管理栄養士の仕事じゃない、と思っている、だから、押しつけになるのでしょう。

小越先生：そうか。その考え方はもう古いけど、その考え方が管理栄養士の役割として定着しているからな。

ゼン先生：とにかく、どれだけの学生が病院の管理栄養士として働きたいのか、です。

小越先生：まずはそこだよ。病院に勤めたいと思っている学生は、割合としてどのくらいなんだろう。

ゼン先生：詳しいことはわかりませんが、私が感じている雰囲気ですが、1割くらいだと思います。

小越先生：1割もいるのか？

ゼン先生：数人かもしれません。

小越先生：数人か。ということは、君の講義は無駄なんだよ。

ゼン先生：無駄ですか。確かに、そうなのでしょう。

小越先生：他の大学の栄養学部はどういう状況なんだろう。

ゼン先生：私の耳に入っている情報では、病院で勤めたいと考えている学生は非常に少ないようで、近年、その傾向は強くなっているとのことですよ。

小越先生：そうか。困ったことだなあ。

ゼン先生：どうしたらいいんでしょう。

小越先生：この2024年度の診療報酬改定では、栄養に力が入ってきているという話だが。

ゼン先生：詳しくは知りませんが、そういう傾向があると聞いています。いい内容だとは思っていませんが。

小越先生：ということは、病院サイドは病院で働く管理栄養士を求めているんだな。

ゼン先生：そうです。でも、病院で働きたいと思っている学生が少ないんだから、これからどうなるのでしょうか。

小越先生：本当、由々しき問題だ。

ゼン先生：それから、病院で働くとしても、私が教えているのは、主に静脈栄養と経腸栄養です。病院が求めているのは、静脈栄養と経腸栄養を理解している管理栄養士ではないのでしょうか。

小越先生：確かに。その傾向は見えているな。

ゼン先生：でしょう？そもそも、現在の多くのNSTの活動内容は経口栄養ですから。静脈栄養が必要になれば、NSTの対象ではなくなる、そういうNSTが多いようです。

小越先生：そうだな。その上、管理栄養士だけではなくて、医師も静脈栄養や経腸栄養には興味なくなっている。

ゼン先生：薬剤師も栄養管理には興味がない。TPNはキット製品を使えば簡単にできる。無菌調剤なんて、薬剤師の仕事ではないと思っているようですし。

小越先生：看護師は違うだろう。

ゼン先生：先生、看護学部で栄養学を教える時、栄養学に興味がありますか？と聞いたら、「興味なし」「一切興味なし」「うんちく程度の知識でよい」「栄養は管理栄養士の仕事、看護師の仕事



↑和気藹々の懇親会。料理が少なくて申し訳ありませんでした。その分、いろいろ話ができてよかった???懇親会では、いろいろ、興味深い話を聞かせていただきました。普段の学会場では聞けないような話で盛り上がりしました。みなさん、突然の指名で何を話していいのかわからない、と言いながら、いい話を聞かせていただきました。参加していただきありがとうございました。

の範囲外」という答えが大半だったと言ったでしょう？

小越先生：そうだったな。

ゼン先生：そういう現状なのに、私が静脈栄養と経腸栄養の講義をしても、興味がない学生に教えようとしても、受け入れてくれないでしょう。

小越先生：本当にそうだ。しかし、後期に看護学部で講義をしたら、看護に栄養は大事だと思ってくれるようになった、そういう学生が出てきたと言っていたんじゃないか？

ゼン先生：そうです。でも、講義の評価は低かったんです。森永乳業クリニックやニプロの協力を得なかったら、相当低い評価だったはずですよ。

小越先生：産経新聞に実践的なことを加味した教育をしていると、評価してもらったんじゃないか？

ゼン先生：そうです。ちょっと元気が出ていたんですが、学生の評価で元気がなくなりました。

小越先生：そうか。どうしようもないのか。

ゼン先生：病院での管理栄養士の仕事として、静脈栄養も経腸栄養も大事だ、そういう認識が広まれば、栄養学部での講義も

意味が出てくるのでしょうか、日本全体として静脈栄養、経腸栄養に対する考え方がネガティブですからね。

小越先生：しかし、静脈栄養や経腸栄養を必要としている患者さんはたくさんいるぞ。

ゼン先生：います、もちろん、たくさんいます。

小越先生：そういう患者さんはどうするんだ？

ゼン先生：食べられなくなったら、死ぬ、それが自然だ、という考え方じゃないですか。

小越先生：死ぬと言うのか。

ゼン先生：死ぬ、とは言いませんが、暗にそう言っているのかもしれない。

小越先生：そりゃあ、静脈栄養や経腸栄養の適応はないと思われる患者さんもたくさんいるとは思いますが、きちんと栄養管理をしてあげたら、元気になる、そんな患者さんはたくさんいるぞ。それも見捨てるのか？

ゼン先生：見捨てているのかもしれない。知らんぷりしていたら死んじやいますが、それを受け入れている医師は結構いるかもしれない。基本的に、もういいんじゃないか、と思う医師が結構いるかもしれない。

小越先生：それは残念だ。栄養管理の基本って、この患者さんに適正な栄養管理をしたら、もっと元気になるんじゃないかなあ、と考えることだからな。

ゼン先生：そうです。患者さんに対する思いやり、ですよ。

小越先生：その通りだ。その気持ちがなくなっているのかもしれない。

ゼン先生：とにかく、今の栄養管理って、口から食べさせることに興味が集中していますから。

小越先生：いや、それは大事なことだよ。食べること、それは大事であることは間違いない。ちょっと話はずれるけど、よく「口から食べさせる」というけど、この日本語、おかしいだろう。

ゼン先生：おかしいですね。口以外のどこから食べるんだ、と先生は言いたいんですよ。

小越先生：その通りだ。

ゼン先生：そういえば、胃瘻は「お腹に作った第二の口」と表現している人がいました。

小越先生：なるほど、第二の口か。しかし、その口は、食物を嘔むことはできない。

ゼン先生：もちろんですが、まあ、胃瘻の表現の一つということで、受け入れられているんでしょうが。

小越先生：そうだな。摂食嚥下訓練にも力が入っているな。

ゼン先生：もちろんです。がんばれ、がんばれ、です。がんばって食べないと元気になりませんよ、です。

小越先生：しかし、な。摂食嚥下訓練中の栄養管理はどうしているんだろう。訓練中に栄養障害に陥っている患者さんがたくさんいるんじゃないか？そのことはあまり話題になっていない



↑全体として、発表もしっかりしていました。質疑応答も真剣な中にもいい雰囲気である、これがリーダーズだ、という感じ。「学会は議論の場」である、これがリーダーズには定着しています。他の研究会や学会にも広がればいいのですが、対面でなければこれはできません。ウェブではこの真剣な議論はできません。



↑投票の結果、中井賞は池田病院の ST、瀬戸口くんに決定。私が ST として栄養の勉強をがんばっていますね、と褒めたのが採点に有効だったのかもしれませんが、いい発表でした。ランチョンセミナーの講師、栗山先生には非常にわかりやすい講演をしていただきました。このお弁当、どうでしたか？私は座長で食べていないのですけど。

んじゃないか？

ゼン先生：摂食嚥下訓練をして、こんなに食べられるようになりました、という話はよく聞きます。

小越先生：訓練中に栄養障害に陥ってしまっている患者さんはたくさんいるはずだよ。

ゼン先生：そういうネガティブな話はほとんど聞いていません。

小越先生：報告できない話だ。食べられるようになるまでは、

たぶん、経鼻胃管で経腸栄養をやっている。それとも、ただただがんばらせて栄養状態が低下しているか、だろうな。

ゼン先生：そうだと思います。がんばって訓練しないと、胃瘻を造らなくてはならなくなりますよ、と言いながら訓練している看護師さんもいるようですから。

小越先生：それは脅しだな。胃瘻を造られるって、そんなに嫌なんだろうか。

ゼン先生：嫌なんじゃないですか。胃瘻を造られたら、人生お終い、そんなイメージなのでしょう。

小越先生：大きな間違いだ。胃瘻を造って適正な経腸栄養を実施して栄養状態を保ちながら摂食嚥下訓練をやって、食べられるようになったら胃瘻を抜いたらいいのに。

ゼン先生：医療従事者が、どうしてわからないんでしょうか。

小越先生：その通りだ。またまた話は飛ぶが、胃瘻を抜く、抜去するって、よく発表などで聞くけど、胃瘻って、抜去できないだろう。

ゼン先生：確かに。実は、私もそれは思っているんです。

小越先生：つつい、オレも胃瘻を抜くと言ってしまったが、抜くのは胃瘻のカテーテルだよ。胃瘻は抜けない。胃瘻は閉鎖する、閉じる、と表現するべきだ。

ゼン先生：そうなんです。しかし、胃瘻を抜く、抜去する、問題意識もなくそう表現されています。

小越先生：正しい日本語を使って欲しいとは思いますが。

ゼン先生：その話はおいておきましょう。とにかく、静脈栄養と経腸栄養を適正に使えば、もっと患者さんは楽になる、それを理解して欲しいんですよ。

小越先生：そうだな。そういう活動を続けたいといけな。

ゼン先生：学生のうちにそういう考え方ができるようになって欲しい、そういう教育をしたいと思ってこの大学へ来たのですが、なかなか大変です。



↑ 会場の雰囲気です。みなさん熱心に議論に耳を傾けて参加しています。机のある座席はほぼ埋まっていますが、最前列はほとんど空いていました。なぜ、一番前の席に座らないのでしょうか。一番前の席は、少し、後ろにずらせば座る？という配置にしても、一番前の席には座らない・・・日本人の謙譲の心という美德？

小越先生：思うようにならないか。

ゼン先生：なりません。世の中もそういう教育を受けた学生を求めているのかもしれないし。

小越先生：八方ふさがりだな。

ゼン先生：そうですね。

小越先生：しかし、2024年度は仕事として講義をしなくてはならないんだろう？もうスケジュールも決まっているのだから。

ゼン先生：そうです。講義はしなくてはならないんです。

小越先生：そしたら、仕方ないじゃないか、あと1年間、君なりにがんばってみなさい。今までの講義の工夫が学生達に通じるか、もう1年、がんばってみたらどうだ。そうしないと、君がいつも表現している、寂しい、となってしまうじゃないか。

ゼン先生：寂しくなる、ですか。既に寂しくなっていますが。

小越先生：とにかく、あと1年、がんばってみなさい。そうしないと、ずっと寂しいままになってしまうから。その後のことはそれから考えなさい。

ゼン先生：ありがとうございます。それじゃあ私なりにがんばってみます、あと1年は。

【今回のまとめ】

1. 第15回リーダーズ学術集会 in NARA は大成功でした。会長の森安先生、ありがとうございました。学会は議論の場、それがリーダーズとして定着しています。
2. 次回、第16回リーダーズは福井県敦賀市で開催します（会長は公立小浜病院外科の林先生）。北陸新幹線が敦賀まで開通したので、東京から敦賀まではすぐです。
3. 4月から千里金蘭大学での仕事が2年目に入ります。1年目を振り返って、いろいろ反省（反省の会話にはなっていないかも）してみました。講義に対する気合が抜けがち、正直なところ。
4. しかし、臨床の現場では私の考え方が求められているのは間違いありません。
5. 患者さんのことを真剣に考えたら、適正な栄養管理が必要であることは間違いありません。そのために栄養学部の学生に講義をしているのですが、**鉄は熱いうちに打て！**
6. 今回は、正直な気持ちを吐露し過ぎたかも・・・反省しながら、思案中です。